

夢を実現！宇宙飛行士候補内定者の諏訪理さんが特別講演

6月24日に宇宙飛行士候補生に選抜された諏訪理（すわ・まこと）さんが本校創立65周年を記念した特別講演を行い、宇宙飛行士選抜試験での実体験とこれからの有人宇宙探査にかける意気込みについて熱く語っていただきました。講演会は夏休み前の最終授業日の開催となりましたが、250名を超える生徒・保護者の参加がありました。

諏訪さんは当時本校の保護者でもあり、JAXA（宇宙航空研究開発機構）で13年ぶりに行われた宇宙飛行士募集において4,000名を超える応募者の中から、今年2月に選抜されました。実は2回目の選抜試験受験となった諏訪さん。講演で宇宙飛行士に興味を持ったきっかけについて、小学生の時に雑誌の企画でNASA（アメリカ航空宇宙局）を訪れ、アポロ計画で月面に降り立ったユージン・サーナン宇宙飛行士に会った経験が大きな影響になったと話しました。選抜試験では英語の試験や面接に加え、閉鎖された環境下で1週間ほかの応募者と過ごしなが課題に取り組んだり、ロボットアームの操作試験を行ったりしたそうです。生徒からは「前回の試験の後にどんなことを考えていたの？」「宇宙に行ったらまず何をしたい？」という質問が寄せられました。



諏訪理さん



選抜試験ではチームワークが重要視されていたと語る諏訪さん

諏訪さんは本校での講演を終えた直後、日本へご帰国され、岸田文雄内閣総理大臣（*1）・高市早苗内閣府特命担当大臣（宇宙開発担当）（*2）へのご挨拶を行われました。現在、宇宙飛行士認定のための訓練に取り組まれています。

日本はアルテミス計画（*3）に参加しており、アメリカに次ぐ世界で2番目の国として日本人の有人月面着陸（*4）を目指し、月面自動車（*5）等を提供するための準備活動が行われています。諏訪さんが月に行き、日本製の月面自動車を世界で初めて運転する日もそう遠くないかもしれません。記事の最後に帰国後の諏訪さんの様子やアルテミス計画についてのリンクを掲載していますので、ぜひご覧ください。続いて、参加者から寄せられた感想と諏訪さんへのメッセージをご紹介します。

ぼくはレゴでひこうきや宇宙船をつくるのが好きです。こんど、すわさんが乗る宇宙船をレゴで作りたいと思いました。（幼稚部）

諏訪さんは小さいころの夢をかなえたと聞いて、私も大きくなったら何になりたいかをよく考えてみたいと思いました。（小4）

ぼくはいつか宇宙エレベーターを作って宇宙にいったいと思っています。諏訪さんのお話を聞いて、もっと宇宙に行きたくなりました。もし僕が宇宙エレベーターを作れたら、諏訪さんも乗ってくださいね。（小3）

宇宙飛行士に選ばれた時に、諏訪さんの家族のみんなもとても喜んでいたことが心に残りました。（小6）

地球のことを学ばれた諏訪さんが、さらに広く宇宙でも研究されることを応援しています。宇宙には地球に無い物質、化学反応もあることなのでしょう。新たに発見されたこと、知ったことを私達に共有していただけることを楽しみにしています。（教職員）

失敗は挑戦の証という言葉に深く感銘を受けました。もちろん諏訪さんが特別な方だから選ばれたのだと思いますが、いつ来るかわからない試験に備えて、失敗を恐れず、挑戦されて夢を掴まれたと聞いて、毎日何かを思い続けて努力し続けることが大切だなあと感じました。（保護者）